

科目名（副題）			開講年次	単位	担当者名
ディスコミュニケーション論				4	山本登志哉
授業概要					
人は人を完全に理解することは不可能です。けれども自分なりの理解でやりとりはできます。そのやりとりも比較的スムーズに進むときと、違和感の連続になるとき、さらには激しい対立になるときもあります。何がそのような対立的なやりとりを生むのでしょうか。この問題をここではそれぞれの人がコミュニケーションに込める意味や構えのズレ、あるいはディスコミュニケーションという観点から色々な領域の具体例を交えつつ考えていきます。					
授業目標					
・人のコミュニケーションの基本的な形（EMS）を理解する ・具体的な場面でのディスコミュニケーションの展開を見る ・理解しきれないが関係を絶てない異質なもの（異己）同士が共生する道を考える					
授業方法					
毎回テーマを設定し、最初にそれについて説明した後、皆さんの経験や意見を聞きながら、理解を深めていきます。					
成績評価方法・基準					
出席 70%、授業への参加意欲 20%、発表 10%					
教科書・教材・参考文献 等					
パワーポイント提示。参考図書「ディスコミュニケーションの心理学：ズレを生きる私たち」（山本・高木編。東大出版会）「自閉症を語りなおす：当事者・支援者・研究者の対話」（大内・山本・渡辺編。新曜社）「アジア映画をアジアの人々と愉しむ」（山本・伊藤編。北大路出版）					
質問への対応					
歓迎します。					
授業経過（授業日程に若干の変更）					
項 目			内 容		
1	10/2	ディスコミュニケーション	すべてのコミュニケーションはディスコミュニケーションである、という基本的な視点について説明します		
2	10/16	YouTube に見る文化差	YouTube 動画を使って身近な文化差について見てみます。		
3	10/23	ドラマに見る文化差	韓ドラなど、異なる社会のドラマのシーンを素材に、身近な人間関係の違いについて見てみます。		
4	10/30	映画に見る文化差	映画の中で障がい者がどう描かれるか、いくつかの例を見てみます。		
5	11/6	お小遣い研究と文化差 1	お小遣い研究について、「おごり」の問題を中心に紹介します。（参考図書：「子どもとお金」東大出版会）		
6	11/20	お小遣い研究と文化差 2	お小遣いやお金についての考え方を交流し、その意味を考えます		
7	11/27	お小遣い研究と文化差 3	「おごり」などの考え方の差に表れる、人間関係の考え方の文化的な違いについて検討します		
8	12/4	定型発達者と発達障がい者 1	自閉系の人のコミュニケーションスタイルを考えます （参考資料：はつけんラボ「所長ブログ」の関連記事）		
9	12/11	定型発達者と発達障がい者 2	自閉系と定型系とでなにがどうずれるのかを考えます		
10	12/18	定型発達者と発達障がい者 3	自閉系と定型系のずれがなぜ生まれるのかを考えます		
11	1/15	裁判官と心理学者 1	供述の解釈をめぐる裁判官と心理学者のディスコミュニケーションから生まれる冤罪を紹介します（参考図書：「生み出された物語」北大路書房）		
12	1/22	裁判官と心理学者 2	ディスコミュニケーション論から考える裁判官と心理学者の対話的相互理解の可能性について検討します		
13	1/29	コミュニケーションの基本構造	規範的要素に媒介された、対象を媒介するやりとりの構造としてコミュニケーションをとらえるEMSについて説明します（参考図書：「文化とは何か、どこにあるのか」新曜社）		
14	2/5	逆 SST	定型発達者と発達障がい者の間の対話的相互理解と、それに基づく「当事者の視点を踏まえた支援」を考える「逆 SST」を説明します		
		「私」のディスコミュニケーション	受講生が感じるディスコミュニケーションについてみんなで考えます		
履修者へのコメント					
人はひとりでは生きていけません。身体が生きてための経済も心が生きてための会話も、コミュニケーションによって成り立っています。でもそこにさまざまな困難が起こり、自分の内部でも人との間でも葛藤が展開します。その仕組みを具体例を通してみんなで考え、葛藤を緩和する道を探ってみたいと思います。					